

# 公開実用平成 2-5746

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-5746

⑬ Int. Cl. 3

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成2年(1990)1月16日

G 03 C 3/00

P

8910-2H

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 バトロネ

⑯ 実 願 昭63-83619

⑰ 出 願 昭63(1988)6月23日

⑱ 考 案 者	金 井	邦 夫	東京都日野市さくら町1番地	コニカ株式会社内
⑲ 考 案 者	高 橋	清 彦	東京都日野市さくら町1番地	コニカ株式会社内
⑲ 考 案 者	原 賀	秀 昭	東京都日野市さくら町1番地	コニカ株式会社内
⑳ 出 願 人	コニカ株式会社 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号			
㉑ 代 理 人	弁理士 坂口 信昭			

## 明 細 書

### 1 考案の名称

パトローネ

### 2 実用新案登録請求の範囲

内部に135タイプ等のロールフィルムを収納して成り、外表面にカメラからの入力情報を記録する記録部を有するパトローネ。

### 3 考案の詳細な説明

#### 〔産業上の利用分野〕

本考案はパトローネ（カートリッジを含む概念としても用いるが、特に110タイプのフィルムを収納した容器ではカートリッジという。）に関し、詳しくは撮影時の情報を現像処理に適切に反映できるパトローネに関する。

#### 〔従来技術〕

一般に撮影済フィルムの現像の過程を見るとDP受付窓口におけるフィルムの受け付け、即ち、受付伝票ないし袋（DP袋）に必要事項（氏名、縁取り有無、光沢か網目の選択等）を記入し、次いでこの各DPからの受付フィルム収集及

びラボにおける集中現像処理を経て、出来上がったプリントはフィルムと共に D P 袋に収納され各 D P を經由して依頼者に提供される。

従って現像依頼者とラボとは隔絶しており、情報交換と言えど D P 袋に記載された内容にすぎないため、ラボではすべての撮影コマについて熟練者による光源の検討等が行われても、コマによってはプリント不良を起す場合がある。それが依頼者にとっては大事な 1 枚である場合もある。

このため、従来ではカメラからの撮影情報をラボに提供せんとして各コマごとにフィルムのパーフォレーション孔の近傍やフィルムの両端に記録部を設ける手段が考えられている。

〔考案が解決しようとする課題〕

しかしフィルム自体に記録部を塗設するのは容易でなく、また現像処理時に長いフィルムの各コマから情報を取り出すのは煩雑であり、かつ記録部の材料が処理液に溶けだし、現像液性能を劣化させるという問題があった。このため現実には、カメラからの撮影情報がラボに提供されていない

のが実情であった。

そこで本考案は製造が容易であり、且つ現像処理における煩雑さが無いと共に現像液性能を劣化させることなく記録部を設けることができ、カメラからの撮影情報をラボに提供して依頼者の望むプリントが得られるパトローネを提供することを目的とする。

#### 〔課題を解決するための手段〕

本考案者は上記目的を達成すべく鋭意検討を重ねた結果、内部に135タイプ等のロールフィルムを収納して成り、外表面にカメラからの入力情報を記録する記録部を有するパトローネによって、上記目的を達成することを見い出し、本考案に至ったものである。

#### 〔作用〕

本考案においては、パトローネ又はカートリッジの外表面にカメラからの入力情報を記録する記録部を設ける構成であるため、従来のフィルムに記録部を設ける手段と異なって、製造上及び現像処理上の問題がなく、上記目的を達成し得るので

ある。

なお、実開昭59-134149号には、パトローネにバーコードを設けそのバーコードと同じ識別情報をフィルムにも設けて、ラボにおける顧客との対応づけを容易にする技術が開示されており、また実開昭60-122937号には、感度検知用磁性体を塗着したパトローネについて開示されているが、いずれも本考案のようなカメラからの入力情報を記録する記録部については開示されていない。

〔実施例〕

以下、添付図面にに基づき、本考案の実施例を説明する。

第1図は本考案を135タイプのパトローネに適用した一実施例を示す斜視図である。

図において、1はパトローネである。2は筒状のパトローネ本体であり、3(3A、3B)は本体2の上下に嵌合されたキャップである。

パトローネ本体2は方形状の金属板を断面環状に折り曲げて円筒状に形成されたものであり、接

合部にフィルムF（135タイプ、35ミリフィルム）の取出口4が形成されている。

パトローネ1を形成するには、上記のようにして環状に折り曲げられた本体2の一端にキャップ3Aを嵌め、次いで開口側から、スプール5に巻かれたフィルムFを装填し、取出口4からフィルム先端を露出させる。次いでキャップ3Bを嵌合して、第1図のようなパトローネ1を得る。

フィルムFは必要に応じて遮光部材6で遮光されていてもよい。

10はカメラ11からの情報を出力部12から送られる信号に応じて記録する記録部である。

記録部10は特に限定される訳ではないが、本実施例では磁性材料を塗布して形成されたものが用いられる。磁性材料を塗布する際、バインダーを用いることも好ましい。

記録部10に記録される情報としては、カメラ11からの各コマ毎の入力情報があり、具体的にはカメラの液晶表示部やファインダーに表示される全ての情報（例えば各コマ毎の露光条件、シャッ

タースピードなど)の1又は2以上、あるいは被写体についての情報(例えば人物の名前、誰の結婚式、葬式、入学式、季節等)、プリント情報(例えば撮影光源(色温度)、コマ毎のプリント枚数、人物と風景とのいずれの側にプリント条件を合せるか等)などが挙げられる。

本考案においてカメラ11からの入力情報にはカメラ11からの直接的情報以外に間接的な情報も含む。上記例では何枚プリントしたいか等のプリント情報の如き情報をコマ毎に選択的入力可能にすることも好ましい。かかる選択的に入力可能にするためには、数個の選択枝用ボタンをカメラ側に用意しておいて、コマ毎に又はコマ入力と共に選択させればよい。

記録部10の設けられる位置は、パトロネ外周面であればよく、図示のキャップ3Bの所定位置に設けてもよく、またスプール5(例えば巻上レバーに遊嵌される部分)に設けてもよい。10'はキャップ3Bに、10''はスプール5に設けられた記録部を示す。記録部10''をスプール5に設けた

場合には、スプールが回転するのでカメラの磁気ヘッドを固定して情報を入力、出力が可能となるという効果がある。

パトローネ本体 2 には、上記記録部 10 以外に各種の表示が含まれ、例えばバーコード 13 及び／又は CAS コード（実開昭 6 1 - 7 3 1 4 0 号）を有することが好ましい。

第 1 図に示すパトローネを用いるには、先ず、カメラ 11 にパトローネ 1 をセットする。フィルム F を巻上げ可能な状態にしてカメラ 11 の裏蓋を閉じる。この時記録部 10 にカメラ側の出力部 12 が接触する。この出力部 12 はカメラノ裏蓋に設けられることが好ましいが、限定される訳ではない。コマ毎の記録をするタイミングを調整するには、フィルムのパーフォレーション孔を一部改造することにより行うことができる。即ち、第 2 図に示すように、コマ F<sub>i</sub> の位置に対応するパーフォレーション孔の先端孔 7 のみを大きくすることにより、当該 F<sub>i</sub> が所定位置（撮影位置）に至ったときに先端孔 7 で位置を検知し、その検知信号で



カメラからの情報を記録部10に記録する。

この記録した情報はラボにおいてフィルムを現像する際に、顧客との対話ないし接点をなし、より優れたプリントを得る手助けとなる。

次に本考案を110タイプのカートリッジに適用する場合について第3図に基づき説明する。

本実施例では、カートリッジ1の側面に記録部10とバーコード13を有している。

以上の実施例で、記録部10は磁性材料を用いたものに限定されず、印字式等を用いることができる。なお、いずれの場合にもコンパクト化をはかるためにICを用いることが好ましい。また音声を電気信号として記録する素子を組込んだICを用いて記録部10を構成していてもよい。

#### [ 考案の効果 ]

本考案によれば、以上の説明から明らかなように、製造が容易であり、且つ現像処理における煩雑さがなく共に現像液性能を劣化させることなく記録部を設けることができ、カメラからの撮影情報をラボに提供して依頼者の望むプリントが得

られるバトロローネを提供することができる。

#### 4 図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示す斜視図、第2図は同上の実施例に用いられるフィルムの一例を示す要部正面部、第3図は本考案の他の実施例を示す斜視図である。

- 1 : バトロローネ
- 2 : バトロローネ本体
- 3 A ; 3 B : キャップ
- 4 : 取出口
- 5 : スプール
- 6 : 遮光部材
- 7 : 先端孔
- 10 : 記録部
- 11 : カメラ
- 12 : 出力部
- 13 : バーコード

実用新案登録  
出願人

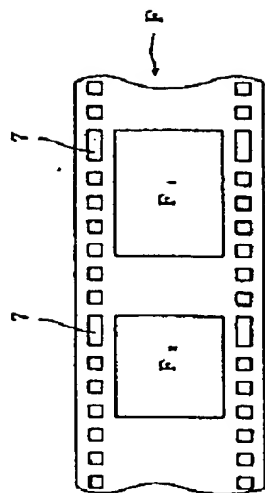
代理人

コニカ株式会社

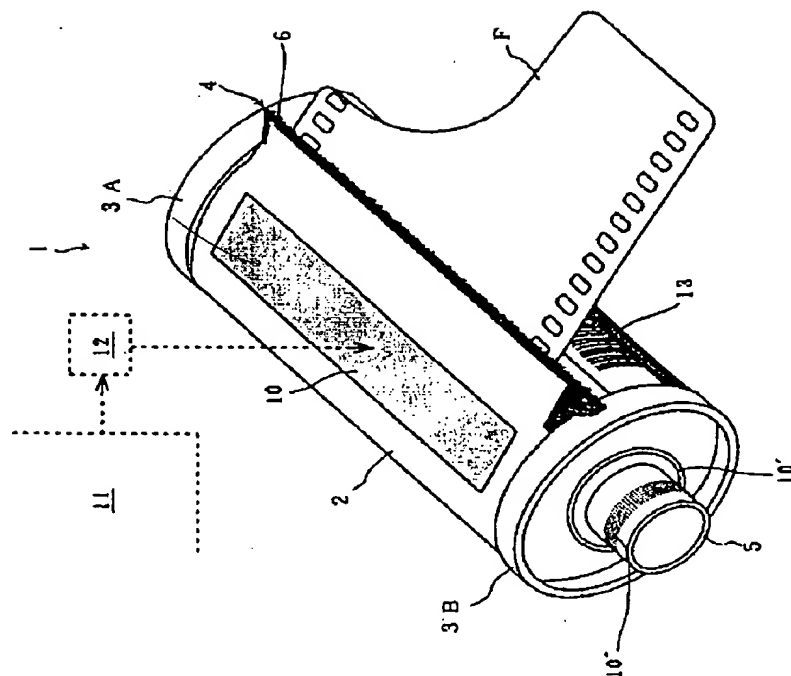
弁理士 坂口 信昭



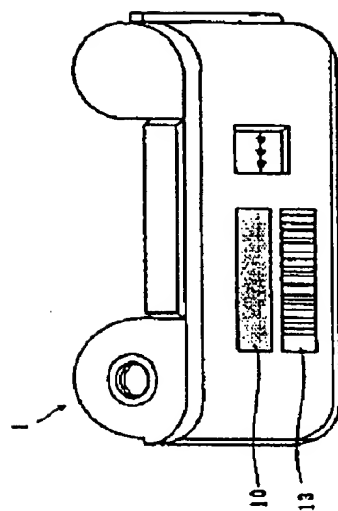
第 2 図



第 1 図



第 3 図



659

実用新案登録  
出願人

コニカ株式会社

代理人 井理士坂口信昭

実開2-5746